

# 甲第 218 号証



浜岡原子力発電所の今、これから

[HOME](#) > [地震・津波対策](#) > [断層・活断層・破碎帯など](#)

① 地震・津波対策

地震対策

- 当社が考慮している地震
- 浜岡原子力発電所の耐震安全性
- 浜岡原子力発電所の耐震設計
- 耐震性をさらに高める工事の実施
- 断層・活断層・破砕帯など
- 地震の基礎知識

津波対策

- 津波対策の考え方
- 【浸水防止対策1】敷地内への浸水を防ぐ
- 【浸水防止対策2】敷地内が浸水しても種屋内への浸水を防ぐ
- 【緊急時対策の強化】冷やす機能を確保する
- 電源供給設備対策の強化について

シビアアクシデント対策

- シビアアクシデント対策について

防災訓練の実施

- 防災訓練の実施

断層・活断層・破砕帯など

「断層」「活断層」「破砕帯」について

「活断層」は、地震を起こしたり、地表に大きなずれを生じさせる可能性のある断層です。

「破砕帯」は、硬い岩盤が砕けた跡です。ごく近くの活断層が動いたときに引きずられて動くことにより、地表に大きなずれを生じさせる可能性が指摘されています。

浜岡原子力発電所の敷地の下には、こうした可能性のある「活断層」および「破砕帯」はありません。

同敷地の下には、「H断層系」と呼んでいる断層がありますが、詳細な調査の結果、このような「活断層」および「破砕帯」ではないことを確認しています。

「断層」「活断層」「破砕帯」

断層とは、地下の地層、岩盤が過去にずれ動いた跡です。非常に長い年月にわたる地殻変動(プレートの移動)などにより、地下で押しやり引いたりする力が加わることで、ずれ動いたものです。断層は、地質調査によって、長さや深さなどの分布状況、加わる力の方向、動いていない年数などがわかります。

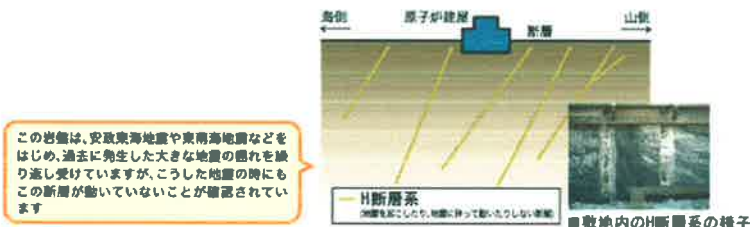
活断層とは、こうした調査結果に基づき、地質学の知見から、過去に繰り返し動き、将来再び動く可能性がある断層です。これにより、地震を起こしたり、地表に大きなずれを生じさせることがあります。

破砕帯とは、地下にある硬い岩盤が何らかの力で破壊され、硬いものが砕けたような跡が一定の幅を持って帯状に連なっているものです。これ自体が地震を起こさなくても、ごく近くの活断層が動いたときに引きずられて動くことにより地表に大きなずれを生じさせる可能性が指摘されています。

「H断層系」について

これまでの調査で、浜岡原子力発電所の敷地の下に断層があることを確認(「H断層系」と呼称)しました。

ただし、断層には、将来再び動く可能性がある断層(活断層)と動かない断層があります。この H断層系は、詳細な調査の結果、少なくとも8万年前以降は動いておらず、活断層および活断層によってずれ動く破砕帯ではないことを確認しており、これまでの国の審査などでも認められています。



H断層系の調査結果はこちらをご覧ください。

[H断層系の調査結果](#)

発電所周辺の活断層の評価結果

これまでの調査において、発電所の周辺に、陸域と海域を合わせ計25本の活断層を確認しました。そのうち、「発電所に与える揺れの強さが大きい活断層」について詳細な評価をおこない、これらがプレート間地震と連動する可能性も含め、最も大きな揺れを分析し評価したうえで、安全性を確認しております。なお、評価にあたっては、地震学の専門家による議論を踏まえ、国が定めた評価方法を用いております。



### 「地盤変動」の影響

想定東海地震が起きた場合、陸側のプレートが持ち上がることにより、御前崎付近で地盤が約1m程度隆起することが想定されています。しかし、この地盤の隆起は、広い範囲にわたるなだらかなものであり、一部が大きく隆起するなどして構造物や機器に影響を与えるものではありません。

[このページの先頭へ](#)